

事業名	国際理解教育（サービスラーニング）
分類	青少年育成(研修・啓発)
協力団体	小学校・中学校・高等学校・大学
<p>活動概要</p> <p>学校が取り組んでいる総合的な学習や、国際理解教育、ボランティア教育などに協力する。子ども達が、世界の現状(貧困・環境・平和など)に目を向け、グローバルな視点から、国際理解(異文化理解)を深めると共に、自分理解の助けとなるような活動とする。学習方法は、講演、IT 機器による交流(メール、スカイプなどを利用)ビデオ、文通、カンボジアからの留学生・研修生などの話を聞く、現地を訪問するなど、できる限りの手立てを利用。そして交流した中で、異文化理解、持続可能な支援について考え、自分達の可能性と力に目覚める。</p> <p>1)施設・物資支援（日本の学校からの寄付金はまとめられて運動施設として支援）</p> <p>*シハヌークビル州チアシム小学校、クラティエ州クラチェ・クロン小学校へスポーツ施設支援(サッカー、バスケット、バレーコート、砂場、平均台、鉄棒、マットなど)他、物資として、ラインマーカー、バトン、ボールなど贈呈</p> <p>*HGむつみ日本語教室へは、教材・文房具・バッグ・など贈呈</p> <p>2)交流支援</p> <p>*岡山学芸館高校(希望する学生が修学旅行の訪問先の一つとしてカンボジアを訪問)</p> <p>*カンボジア小学校教諭サンポアス先生が岡山市で5ヵ月間の研修。交流学校を訪問、カンボジアの学校について話しをしてくれました。</p> <p>3)先生方の現地ワークショップ活動</p> <p>岡山市の現職の先生たちが、夏休みと冬休みにバタンバン州で実施しているHGの保健科教育育成事業に参加した。先生方は帰国後、カンボジアの様子を児童たちに紹介。</p> <p>4)授業協力</p> <p>2009年から2年間の計画で岡山市立御津中学校教員森先生が休職して、HGプノンペン事務所に参加している。先生から定期的に通信が届けられ、協力学校に送信される。また、HGスタッフ、短期派遣専門家など現地から帰国した後、小・中学校で出前授業を実施。(年間15回実施)</p>	 <p>支援学校の名前が書かれているプレート</p>  <p>サンポアス先生</p>  <p>スバイリエン州6校の先生方が保健科ワークショップに参加</p>
<p>成果</p> <p>年間を通じて、途上国にかかわることで、それぞれが、貧困、環境、食料、人権、平和などが、どれもつながりをもって関係している事を知り、自分たちで出来る何かがあることを実感した。また、自分たちの環境、教育、家庭、地域などに目を向け、持続可能な社会を、協力して作ることに向かう。将来の生き方にも影響を及ぼしていることは大きな成果と言える。また、自分たちが支援した物資などが、現地に渡され喜ばれたことを確認でき、今後もできる支援活に取り組む動機づけとなった。</p>	
<p>参加学校</p> <p>関係学校：①岡山市立平福小学校 ②岡山市立福島小学校 ③岡山市立西大寺小学校 ④岡山市立御南小学校 ⑤岡山市立野谷小学校 ⑥岡山市立城東台小学校 ⑦岡山市立石井中学校 ⑧岡山市立御津中学校 ⑨岡山市立建部中学校 ⑩岡山学芸館高校 ⑪順天中・高校 ⑫穂高西中学校 ⑬カンボジアチェイ小学校内HGむつみ日本語教室 ⑭カンボジアチャイルドケアセンター 他</p>	
<p>今後の計画</p> <p>引き続きカンボジアから日本の高校に留学させたい。カンボジアから日本に招待する方々もできる範囲で学校訪問をして、直接顔の見える交流の機会を増やす。2011年をHGは「教育国際交流年」と位置付けて活動を計画。</p>	
<p>助成団体</p>	<p>岡山 ESD 協議会、個人、</p>